

今月のトピックス

- ・いいことは共感でひろがる 大切なのは発信してつながること …《新春鹿角の女子対談》
- ・桃の香り成分の抽出実験、他 ……………《ブランドアップ戦略レポート》
- ・PR動画「鹿角の魅力を教え隊!!」を公開 …《鹿角ブランドPR強化事業》
- ・蛇足にならぬよう、ヘビーに行こう! ……………《室長コラム》

2013年
新春企画

鹿角の女子会

鹿角が元気になるにはどうしたらいいと思う??



2013年の年頭にあたり、県外で経験を積み、鹿角に戻ってきた女子3名にお集まりいただき、鹿角の活性化についてお話していただきました。外側目線で語られる「鹿角」の話題は、当室の今年の抱負ともなりえる貴重なものとなりました。

暖かい柔らかな雰囲気の中、中滝ふるさと学舎の暖話室で、薪ストーブを囲んでの対談となりました。



トザワ写真室

兎澤 三果さん

鹿角市花輪出身。S47年生。日本大学芸術学部卒業後、出版社で勤務。2011年に帰鹿、家業の写真室にて勤務。

たくさんあるいい物を、集めて発信することが大事。いいものはたくさんあるけれど、絞れていないところが残念。集めてつないで発信していくことが大事。地域の人の温かさが嬉しい。鹿角は人生の楽園になれる要素があります。

(木村さん) ホームページ、フェイスブックで発信をしていますが、やっていない人には、良さや利点はなかなか理解してもらえないですね。始めてしまうと、いいものだとわかってもらえるんですが。

(兎澤さん) その、発信を始めていない層をいかに巻き込んでいくかが課題ですね。

(中略)

(青山さん) 私も、鹿角に戻ってきて、楽しいと感じています。鹿角にも、ちゃんと考えて頑張っている人がいて、そんな人たちに会おうから、すばらしいなって思います。

(木村さん) それは、ありますね。外に出たからこそ、鹿角市のいいところがわかるということもありますよね。

(兎澤さん) 高校生くらいの時は、地域のつながりが重荷に感じたこともあったけれど、今思うと、本当にありがたいことだなと思います。私が東京から帰ってきたとき、まるで、ずっといたかのように受け入れてもらったのが、すごく嬉しかったです。

(中略)



農業

木村 真由美さん

東京都出身。S53年生。美容師として勤務の後、ご両親の地元である鹿角へ。結婚後、ご主人の家業の農業に従事。木村宅は、農産物の直接販売なども行う精力的な農家さん。

いい物を一生懸命作って提供する気持ちがブランド。農家の皆さんは、加工品でも頑張っています。何かをはじめたい、手伝いたい気持ちがある人は結構います。人と人のつながりがやっぱり大切。インターネット、フェイスブックは、やってみないとよさが伝わらない。それぞれの可能性を引き出すつながりになっています。

(青山さん) 若手が元気になるには、若者の居場所ができればいいと思います。若い人の意見を取り入れられる場があればいいと。

(兎澤さん) 去年10月のホルモンサミットは、若手からの意見発信で、多くの関係者の参加協力を得て、市政40周年記念事業との連携も生んだ。今までにないイベントになっていたと思います。イベントの後に、ホルモンが全国ネットのテレビにも取り上げられましたね。テレビの発信力は大きいので、どんどん続いていくといいですね。時折、発信する機会はあるけれど、なかなかメジャーになれない、そこから先に続いていかないような。

(中略)

(木村さん) うちでも、かづの北限の桃を出しています。あんたらあに桃を出しても、売れ行きがいいです。

(兎澤さん) よく買に行きますが、売り切れていたりします。かづの北限の桃もかづの牛も、おいしいと思って地元でなかなか食べられないのは、残念に思います。

(青山さん) 鹿角に来たら食べられるようにしたら、市外からのお客さんが増えたりするでしょうか。

(兎澤さん) 通販でどこからでも取り寄せられる時代だから、ここに来ないと食べられない物には価値があるかも知れませんが。

(木村さん) ホームページを持っていても、情報発信につながっていないような気がしますね。

(兎澤さん) 情報を収集、発信できる人とそうでない人の差が大きいですね。



株式会社 青山精工

青山 亜起菜さん

鹿角市十和田出身。S58年生。小樽商科大学卒業後単身ニュージランドへ渡り、福祉関係に勤務。5年在住の後、震災を機に帰鹿。(株)青山精工 勤務

特徴のある事業を呼び水に。いいことは共感され広がっていきます。

鹿角にも、ちゃんと考えて頑張っている人たちがいる、そんな人たちと会おうから、地元に戻ってきて本当によかったと思います。誰かの周りには、必ずその人の友達があります。共感されれば、友達から友達へと、いいことは必ず広まっていきます。

(青山さん) 国際教養大学のように、鹿角の小中学校でも、英語だけの授業を設けたら、鹿角市の特徴になって、英語教育に興味のある父母が、鹿角の学校を選んでくれるようになったら素敵だなと思っています。最初は抵抗があるかもしれないけど、英語力とか理解力が育つと思うし、いいと思います。子育てを考えると、鹿角は安全だと思うし、地元に戻ってきたいと思う人は多いと思います。鹿角市の人みんな英語をしゃべっていたら、かっこよくて自慢になります。

(木村さん) 新しいことを始めると批判を受けたりもするけれど、いいものはだんだん伝わって理解されていきますよね。

(青山さん) グループのメンバーだけでは、いいことでも広がっていくのに限界があるけれど、共感してくれる人がどんどん増えていけば広がっていきますよね。共感してくれた人だけじゃなくて、お友達とかその人の周りにはもっと人がいますね。

(兎澤さん) イベントでも、興味はある人はたくさんいると思います。

(木村さん) やりたいって思っている人はたくさんいると思います。つながり、連携が大事ですね。

1時間半にわたる対談では、和やかな雰囲気の中で活発な意見が交わされました。鹿角の課題は情報発信にあること、人と人とのつながりが、発信力、拡散力を強めることが3名の女子の共通意見でした。人、物、情報の集まるプラットホーム機能の強化と、強力な発信力が鹿角の活性化のポイントとなりそうです。

【鹿角ブランドアップ戦略レポート】

コミュニティFM プロジェクト

昨年9月から行っておりますツイキャス動画配信も1月24日で20回目を迎えます。

今後もゲストをお迎えしたイベント告知に加え、自分達で制作した番組や、表現力を養うための朗読など中心に放送する予定です。

また、1月中には総務省東北総合通信局へ免許申請書類の提出を済ませ、その後は会社設立など、7月開局に向けて準備を進めて参ります。

桃 花 プロジェクト

以前お知らせした桃の香り抽出の実験結果について報告します。桃の香り成分は、各種有機化合物から構成されますが、中でも桃特有の甘い香りの素となっているのは、ラクトン類（特に γ -デカラクトン）と言われています。このことから今回は常温・冷蔵（2℃）の各温度条件でアルコール（最も手取り早いホワイトリカー）に浸漬し抽出を試みましたが、桃らしい香りを抽出することはできませんでした。来シーズンは別の方法でチャレンジしたいと思いますので、情報をお持ちの方がいらっしゃいましたらお寄せください。



米 粉 プロジェクト

1月18日（金）～20日（日）の3日間に渡り、東京・秋葉原のイベント会場において「しこっ魂きりたんぼの里プロジェクト」商品の展示会を初開催しました！展示会には、首都圏の鹿角ゆかりの方々やバイヤー、マスコミ関係の方々から来場頂き、参加メンバーが積極的にプロジェクトや商品のPRを行うなど、大いに盛り上がりました。展示会の様子は来月号で詳しくレポートしますので、ご期待ください。

ブランドアップ ～関係機関団体、代表者会議を開催しました～

去る12月18日（火）に今年度2回目となる関係機関・団体による代表者会議を、鹿角市長をはじめ、県鹿角地域振興局、鹿角工業振興会、かづの商工会、JAかづの、鹿角森林組合、鹿角金融団、十和田八幡平観光物産協会、県畜産農業協同組合鹿角支所の計9団体等の代表者により開催しました。

会議では、はじめにブランドアップ戦略関連事業として、日本サッカー協会と連携し実施した鹿角ブランドPR強化事業（以下、PR事業）や伝説の里かづの体感博覧会「でんぱく」の取り組み状況の報告を行ったところ、PR事業（鹿角いいね！キャンペーン）に関し、今回の取り組みを今後活かすための詳細なデータの分析や成果を出すための方策、継続した取り組みの必要性などの意見が出され

ました。その後の意見交換会では、産業間連携を推進するための「かづの産業見合市（以下、見合市）」開催等について、出席者から「バイヤーが魅力を感じた商品やその理由」「来場者（バイヤー等）意見等の出展者へのフィードバックが重要」等の意見が出されたほか、今後の見合市開催に関してはより市が一丸となった取り組みとするためこれまでの市主催からブランドアップ関係機関・団体による実行委員会形式で開催する方向で合意がなされました。

この他にも出席者からは、本市の産業の活性化等に向けた様々な意見や要望が出されるなど活発な意見交換と情報の共有等が図られました。今回の会議で得られた貴重な意見や要望等も参考にしながら、今後も本市のブランドアップに向け事業展開を図っていくこととしています。

鹿角ブランドPR強化事業

「夢先生」出演によるPR動画「鹿角の魅力を教え隊!!」を公開

鹿角にある名所、特産を紹介する動画を製作しました。JFAこころのプロジェクトのご協力、連携により、川淵キャプテンと「夢の教室」で鹿角を訪れたトップアスリートに鹿角の魅力を熱くPRして頂きました。1本5分程のオムニバス形式で5本の動画を鹿角市ホームページで公開しています。 http://www.city.kazuno.akita.jp/kakuka_folder/renk.jsp

文化編



日本サッカー協会
最高顧問
川淵 三郎さん
大湯環状列石、大日堂舞楽など鹿角の文化遺産をテーマに。

観光編



元全日本
女子バレーボール
落合 真理さん
中滝ふるさと学舎から、鹿角の観光とかづの牛の魅力を紹介。

スポーツ編



元スピードスケート日本代表
元自転車日本代表
大菅 小百合さん
総合運動公園より、スポーツの町鹿角の魅力と淡雪こまちを紹介。

祭り編



元サッカー日本代表
水沼 貴史さん
花輪ばやし、毛馬内盆踊り、大湯大太鼓と鹿角ホルモンを紹介。

温泉編



元水泳日本代表
種田 恵さん
鹿角の温泉ときりたんぼ鍋、かづの北限の桃を紹介。

つぶやき～コラム～

新年明けましておめでとうございます。今年もなんとかお付き合いください。

今年は、好きな人が少ない「巳年（へび）」です。へびはなぜ気持ち悪いかと言えば、長くてクネクネして、ヌルヌルしているようにみえるからだと思う。まるで掴み所がない、動物であるが、こと、我々人間も同じで掴み所がないヒトは付き合ったり、一緒に仕事していても非常に困惑する。（ま、自分も良くそう言われるが）

型破りな役者として有名だった、故中村勘三郎が生前言ったが、「自分が歌舞伎役者

として、『はっ』と気付かされた瞬間は、かの織田無道氏が『一つの道として、その人その人の「型」があってこそ「型破り」と言うんだよ。それが無くて無鉄砲なのはただの「形無し」と言うんだよ。』というのを聞き、きちんとした歌舞伎の型を会得し、その上でそれまでの歌舞伎界に無かった道を開いた。」とのことだった。果たして、この鹿角にはその「型」があるのだろうか。「ブランド」というのは、言い換えれば、一つの「型破り」的なものではないのかとも思う。「欲張りな鹿角」だけれども、一つ大好物が欲しいものだ。

蛇足にならぬよう、さあ今年へへビーに行こう！（プラードル）

